

機会を提供して活躍を促進する —九州大学女性研究者支援・増加策—

国立大学法人 九州大学(上瀧恵里子・研究戦略企画室・office@srp.kyushu-u.ac.jp)

Kyushu University “Woman Researchers Promotion Program (WRP)” Kyushu University (Eriko JOTAKI・Office for Strategic Planning)

Abstract:

Since 2006, Kyushu University has prepared many kinds of support programs for female researchers using MEXT funds and university's original funds. The Woman Researchers Promotion Program (WRP) has been operating since 2009. More than thirty of excellent female researchers were employed through the WRP using positive action for women. Besides the various support programs, taking advantage of WRP, the numbers of female researchers outside the WRP increased in Kyushu University.

<九州大学の女性研究者支援策>

2006年以降文部科学省の2つの補助事業も含め、下記にあげる多様な支援を実施している。

(1)ワーク ライフ バランス

- ・研究補助者措置制度[Hand in Hand](2007~)
- ・3つの学内保育施設の開設 (2009)
- ・女性教員出産時の支援教員採用制度 (2010~)

(2)女性教員増加策

- ・公募要領に「男女共同参画推進」の明記(2005~)
- ・部局研究費の傾斜配分指標に女性教員在籍状況を追加(2008~)
- ・「女性枠設定による教員採用・養成システム」実施

(3)研究助成

- ・学内競争的研究費に「女性枠」の設置(2006~)
- ・国際学会参加派遣支援 (2006~)
- ・スキルアップセミナー開催 (2006~)

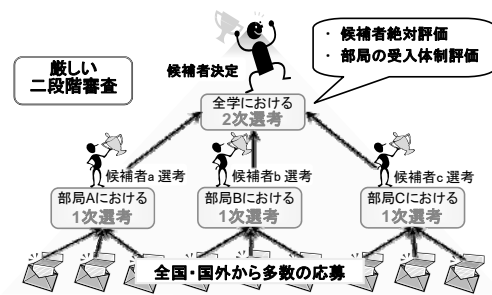
(4)支援組織

- ・男女共同参画推進室(2004~)
- ・女性研究者キャリア開発センター(2007~)
- ・研究戦略企画室(2002~)

<九州大学方式の特徴>

2009年から文部科学省の補助事業で開始した「女性枠設定による教員採用・養成システム」では女性研究者に活躍の機会を与えることを主眼に女性限定公募を行い、優秀な研究者を採用するため2段階の厳正な審査を行った。おもな特徴は以下のとおりである。

- ①採用女性枠の設定、
- ②女性限定国際公募、
- ③部局間競争による優秀な人材の発掘、
- ④全学審査会による透明性の高い選考、
- ⑤通常教員として処遇、
- ⑥理工農以外の分野も実施(自主経費)



女性枠教員採用プロセス イメージ

採用された女性教員は、補助事業等により採用後3年目まで研究費などの支援を受ける。また採用部局は養成・支援計画に基づき研究環境の整備、研究費等の支援を行う。また大学全体の女性研究者を対象に、研究力・教育力向上のためのスキルアップセミナーも随時開催している。

<採用実績・波及効果>

本取組開始後、理工農分野で2013年3月までに合計26名(教授4、准教授14、助教8)の新規養成女性教員¹⁾が着任し、種々の支援やメンター制度を活用し研究・教育活動に邁進している。この26人は、本年度科研費平均採択件数が0.9を超えるなど研究活動を活発に行っている。

本取組を通じ優秀な女性研究者の存在が認識され、通常人事においても女性の採用が増加している。2008年まで女性教員比率は長年8%台で推移していたが、現在では11%を超えている。一時的な経過措置として実施した採用女性枠は一定の効果を挙げており、引き続き女性研究者の活躍促進に向け継続して行く予定である。

1) 補助金で支援を受ける新規に採用された女性教員

URL: モデル事業: 女性研究者キャリア開発センター、

URL: <http://sofre.kyushu-u.ac.jp/>

改革加速事業: 研究戦略企画室、

URL: <http://wrp.kyushu-u.ac.jp/>